

第85期 第2四半期 株主報告書

平成29年4月1日から平成29年9月30日まで



西部電機株式会社

証券コード 6144



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第85期第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）の決算が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

平成29年12月

取締役社長 **宮地敬四郎**
Keishiro Miyaji

「危機感」と「決断」と「スピード」を

Q 当第2四半期の決算のポイントについて教えてください。

A 前年同期比減収となりましたが各利益項目とも増益となりました。

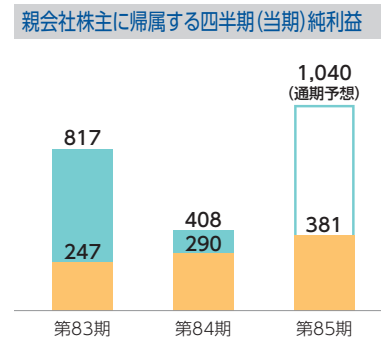
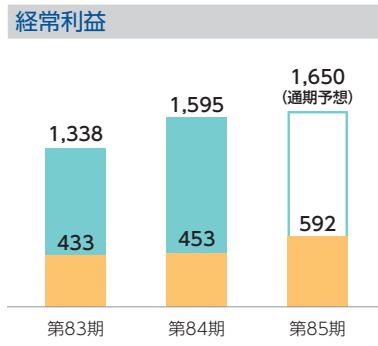
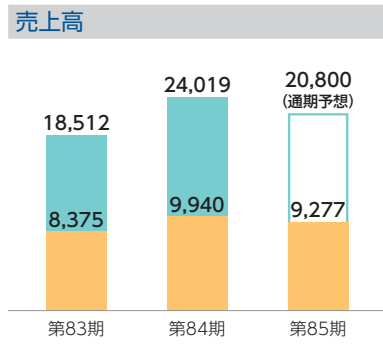
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安などを背景に、企業収益や雇用・所得環境などに改善がみられ、緩やかな景気回復基調が続きました。しかしながら、依然として中国をはじめとするアジア新興国経済の減速など海外経済の下振れリスクを抱えております。

このような情勢の中で、2015年度から2017年度までの中期経営計画「チャレンジ200」を策定し、当社グループはどのような環境下にあっても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は円安に

業績ハイライト ・ *Financial Highlights*

■ 第2四半期 ■ 通期 （単位：百万円・%）



念頭に、中期経営計画「チャレンジ200」の最終年度達成を目指します。

よる輸出の増加もあり、118億9千4百万円(前年同期比 32.7%増)となりました。売上高は前期のような大口物件の納入がなかったこともあり、92億7千7百万円(前年同期比 6.7%減)となりました。また、損益においては、経常利益は5億9千2百万円(前年同期比 30.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億8千1百万円(前年同期比 31.5%増)となりました。

Q 下期へ向けての見通しはいかがですか？

A 中期経営計画の最終年度、経済環境の変化を捉えチャレンジ精神で計画達成を目指します。

当社グループといたしましては、経済環境の変化を捉え、チャレンジ精神で新市場に果敢に挑戦し、市場競争を勝ち抜く所存であります。さらには、コストダウンや経費の削減に一層注力し、企業体質の強化と着実な安定成長の確保に努めてまいります。

なお、通期の連結業績見通しとしては、売上高208億円

(前期比 13.4%減)、経常利益16億5千万円(前期比 3.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益10億4千万円(前期比 154.6%増)を計画しております。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

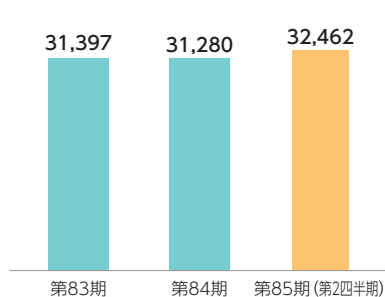
A 安定配当を基本方針に当第2四半期末の配当金は、1株当たり7円とさせていただきます。

当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。

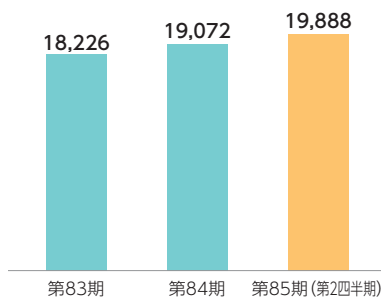
当第2四半期末の配当金は、1株当たり7円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

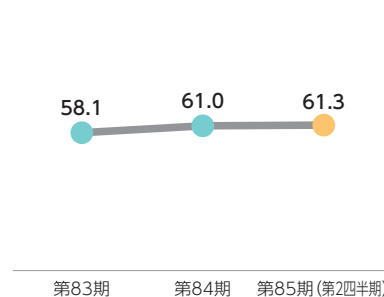
総資産



純資産

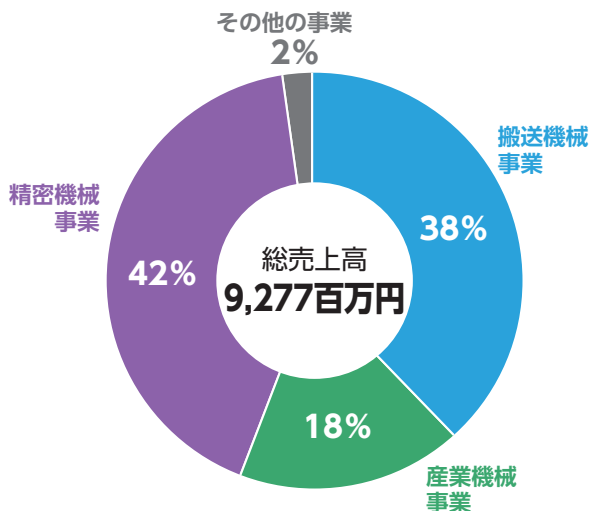


自己資本比率

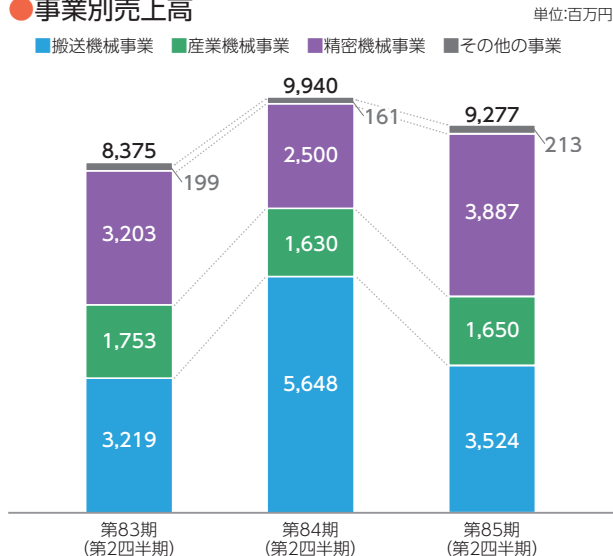


主要な事業別営業の概況 *Operating Overview*

● 事業別売上高構成比



● 事業別売上高



搬送機械事業

売上高 **3,524百万円** (前年同期比 37.6%減)

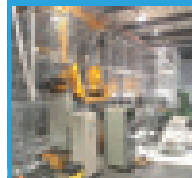
搬送機械事業では、既存顧客からの大型システムのリピート受注、自動倉庫や製造業の生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。

その結果、受注高は45億5千万円(前年同期比 16.6%増)、売上高は前期のような大口物件の納入がなかったこともあり、35億2千4百万円(前年同期比 37.6%減)となりました。

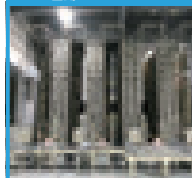
主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクスマテハン

FAシステム



ケース自動ピッキングシステム



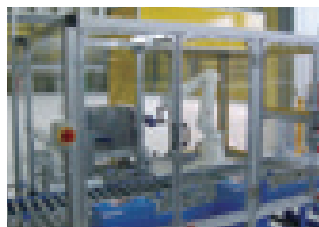
オリコン段積ロボ



TOPICS 「ロボティクス・マテハン」シリーズ化・第一弾完成

搬送機械事業では、労働力不足の課題解決に向けた、マテハンメーカーならではの新たなロボットシステムソリューション「ロボティクス・マテハン」に取り組んでおります。この度、折り畳み式コンテナ(以下:オリコン)を取り扱う一連のシステムが完成しました。

このシステムは、オリコンの高速組立(オリコン組立機)、出荷先ラベルの任意面貼付(SCMラベル貼付ロボット)、カゴ車への直接段積(オリコン段積ロボ)を自動化し、出荷場までの搬送を補助(電動アシスト台車)する製品で、現場の省人化・軽労化を実現しました。



SCMラベル貼付ロボット

各機器は、既に物流現場で活躍しており、自由な組合せによるシステム構築が可能となっています。

今後も、市場にマッチしたシリーズ展開を行い、市場拡大を図ってまいります。

産業機械事業

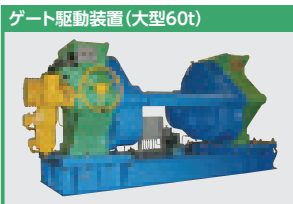
売上高 **1,650**百万円 (前年同期比 1.2%増)

産業機械事業では、民間需要の掘り起こしやゲート分野を中心とした既存市場におけるシェアアップ、サービス・メンテナンスに注力してまいりました。

その結果、受注高は25億8千8百万円(前年同期比 1.6%増)、売上高は16億5千万円(前年同期比 1.2%増)となりました。

主要商品

■ バルブアクチュエータ ■ ゲート駆動装置



TOPICS Pumps and Valves Asia 2017に出展 (in Thailand)

産業機械事業では、タイを起点に東南アジアのインフラ市場への参入を本格的に開始しました。その一環として、株式会社菱和殿とタイの代理店GWE社 (Green Water Engineering) とタイアップし、6月7日～10日にタイ(バンコク)で開催された東南アジア最大級のバルブ関連機器の展示会「Pumps and Valves Asia 2017」に出展しました。

当展示会では、世界標準規格対応のSemflex®シリーズとIoTに対応可能なインテリジェント通信システム、また以前、タイ市場に導入した機種のリプレイス用にLTKDを展示しました。水道・電力・国営団体・民営プラント・バルブメーカーなど、タイ市場拡販のキーとなる多くの企業が来場し、展示会終了後には早速引き合いをいただきました。

今後も現地代理店と協力し、ASEAN諸国への市場展開を図ってまいります。



精密機械事業

売上高 **3,887**百万円 (前年同期比 55.5%増)

精密機械事業では、新規顧客や海外市場の開拓に注力してまいりました。

その結果、スマホ需要と市場の高精度機要求に支えられ、放電機械の輸出が増加し、受注高は45億3千7百万円(前年同期比 90.2%増)、売上高は38億8千7百万円(前年同期比 55.5%増)となりました。

主要商品

■ 超精密・高精度ワイヤ放電加工機 ■ 高精度小形NC旋盤
■ 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様) ■ 正面旋盤



TOPICS [MEX15]が「精密工学会ものづくり賞」を受賞

精密機械事業では、9月20日～22日まで開催された精密工学会秋季大会において、油仕様超精密ワイヤ放電加工機「MEX15」が「精密工学会ものづくり賞」を受賞しました。この賞は、精密工学の分野で社会的価値の高い製品や技術を開発した企業等に対し贈られるものです。

「MEX15」は、高精度化を実現するため、全てを新設計し、オンリーワンの機械構造(バーチャルクロステープル)で構成しました。また、処理速度や操作性向上のため最新のCNCを採用し、操作画面のデザインもトレンドに合わせて刷新した、当社ワイヤ放電加工機のフラッグシップモデルとして開発した製品です。

今後もさらなる精度の追求を最優先に、研究開発活動に一層取り組んでまいります。



連結財務諸表(要約) ・ Financial Statements

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

■ 第2四半期連結貸借対照表

科 目	第85期第2四半期	第84期
	平成29年9月30日	平成29年3月31日
資産の部		
流動資産	17,956	17,337
固定資産	14,505	13,942
有形固定資産	9,447	9,590
無形固定資産	9	10
投資その他の資産	5,048	4,341
資産合計	32,462	31,280
負債の部		
流動負債	8,384	8,052
固定負債	4,189	4,156
負債合計	12,573	12,208
純資産の部		
株主資本	14,340	14,065
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	9,070	8,795
自己株式	△4	△4
その他の包括利益累計額	5,547	5,006
純資産合計	19,888	19,072
負債純資産合計	32,462	31,280

■ 第2四半期連結損益計算書

科 目	第85期第2四半期	第84期第2四半期
	平成29年4月1日から平成29年9月30日まで	平成28年4月1日から平成28年9月30日まで
売上高	9,277	9,940
売上原価	6,756	7,755
売上総利益	2,520	2,184
販売費及び一般管理費	1,941	1,761
営業利益	579	423
営業外収益	36	39
営業外費用	23	9
経常利益	592	453
特別利益	0	10
特別損失	0	1
税金等調整前四半期純利益	592	462
法人税、住民税及び事業税	132	57
法人税等調整額	78	115
四半期純利益	381	290
親会社株主に帰属する四半期純利益	381	290

■ 第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第85期第2四半期	第84期第2四半期
	平成29年4月1日から平成29年9月30日まで	平成28年4月1日から平成28年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,860	313
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99	△813
財務活動によるキャッシュ・フロー	△118	△135
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,641	△636
現金及び現金同等物の期首残高	7,409	7,753
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,051	7,117

平成29年9月30日現在

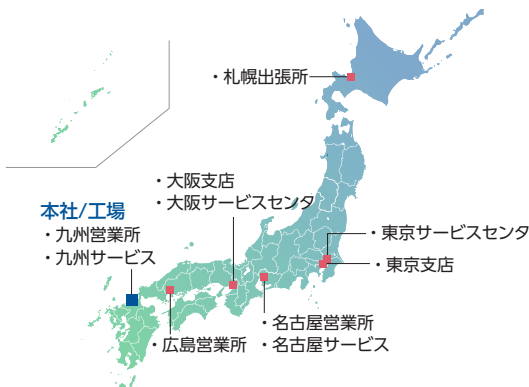
■ 会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	昭和14年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	434名(連結485名)

■ 役員

取締役社長(代表取締役)	宮地 敬四郎
専務取締役	藤岡 敬正
常務取締役	税所 幸一
取締役	中里 晋也
取締役	溝田 安彦
取締役	塩川 秀樹
取締役	佐藤 徳生
社外取締役	井上 信之
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	小西 正純
社外監査役	大塚 丈徳

■ 事業所



■ 株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	1,203名

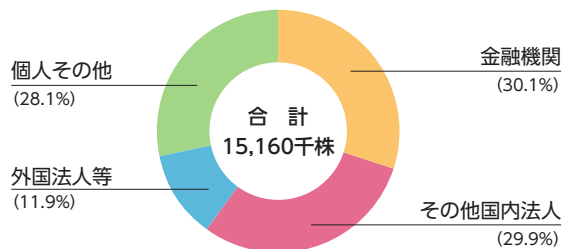
■ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,586	10.4
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	1,228	8.1
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
株式会社三菱東京UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
MSIP CLIENT SECURITIES	541	3.5
西部電機従業員持株会	410	2.7

(注) 1. 持株比率は自己株式(10,075株)を控除して計算しております。

2. シンプルクス・アセット・マネジメント株式会社から平成29年8月24日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、平成29年8月17日現在同社が3,303,900株(保有割合21.79%)を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

■ 所有者別株式分布状況

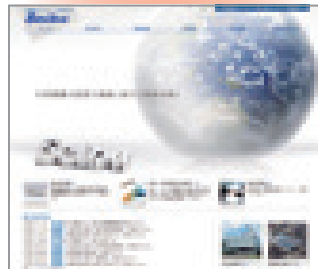


■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(http://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<http://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合【特別口座の株主様】
お問合せ先	お取引の証券会社等になります。 (ただし、支払明細発行については、右記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。)	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く9:00~17:00)
お取扱店		みずほ証券株式会社 本店、全国各支店および営業所、プラネットブース(株式会社みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店
ご注意	未払配当金のお支払いについては、みずほ信託銀行株式会社および株式会社みずほ銀行の本店および全国各支店にてお取扱いいたします。(みずほ証券株式会社では取次のみとなります。)	

【特別口座の株主様へご案内】

1.株式の売買について

「特別口座」では、単元株式の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。株券の電子化後に振替手続きを行っていない株主様は、上記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。

2.少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座で所有される場合、配当等を受取るには、証券会社等を通じて受取る「株式数比例配分方式」の手続きが必要となります。「特別口座」の株主様は「株式数比例配分方式」をご利用いただくことができませんので、別途手続きが必要となります。詳細は上記【特別口座の株主様】のお問合せ先までご連絡ください。

表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬渓流の四季をモチーフに「自然随順」を表現しております。当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品をつくり、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)

